児童発達支援事業所における自己評価結果（公表）

公表日	2022年3月31日	事業所名	ひばりキッズジュニア 行橋こうめ

mar

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○				
	2	職員の配置数は適切である		○			・適切ではあるが、特性によっては不安な時がある。決められた人員以外に追加の人員を配置し、支援の充実を図りたい。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	○			・児童の特性に応じてクラスを分けをし、子ども達が過ごしやすい空間を提供している。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	○				
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	○				
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○				
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で	○				
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	○				
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○			・オンライン研修が増えたため、移動も少なく参加しやすくなった。	
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	○				
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○				
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	○				
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	○				
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	○			・クラス職員全員で検討している。	
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○			・音楽療法やダンス、製作、季節のレクレーションなど子ども達が楽しめる活動に取り組んでいる。	
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成している	○				

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○			・活動内容は実物写真、絵カードを使用し、担当児童も見える化にして確認している。	
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い､気付いた点等を共有している	○				
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○				
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	○				
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○				
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	○				
	23	（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合） 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	○				
	24	（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合） 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	○				
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○			・併用の児童に関しては、送迎時に情報交換をするようにしている。	
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○				
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○				
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある		○			・コロナ禍で交流が出来ていないが、機会があれば交流を図っていきたい。
	29	（自立支援）協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している		○		・地域で行われる研修会等に参加している。	
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○				
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント･トレーニング等）の支援を行っている	○				

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○				
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	○				
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○				
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○			コロナ禍で今年度は開催できなかったが、来年度は開催する予定にしている。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	○				
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○				
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	○				
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○				
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○			・地域の方々との交流は出来ていないが、近隣のごみ拾いなどを行っている。
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	○				
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○				
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	○			・契約時に確認している。薬の変更などがあった場合は保護者から連絡を頂いている。	
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○			保護者から申し出があれば除去食の対応をしている。	
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○				
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○				
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	○				

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は事業所全体で行った自己評価です。

保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果（公表）

事業所名	ひばりキッズジュニア 行橋こうめ	保護者等数／児童数	26／27
		回答数 [割合 %]	20 [77%]

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されている	16	1		3		
	2	職員の配置数や専門性は適切である	12	2		6	専門的な（作業、言語など）週一回等で行えると良いと思う。	・特別教育支援士による個別対応や助言のもと、対応していく
	3	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	16	1		3		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	17			3		
適切な支援の提供	5	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されている	14	3		3		
	6	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	13	2		5		
	7	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	17	1		2		
	8	活動プログラムが固定化しないよう工夫されている	18	1		1	毎月細かく計画し、活動状況も聞かせてくれて嬉しく思う。 毎日楽しいプログラムが組まれている。	
	9	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	5	1	3	11	オンラインで活動があったと聞いた。	
保護者への説明等	10	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされた	20					
	11	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされた	15	1		4		
	12	保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニングiv等）が行われている	7	4	1	8	不安な事を確認すると（質問する）と説明してくれる。	
	13	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	17	3			利用日が少ない為、近いうちに状況を確認したい。	・連絡帳や送迎時、お迎えの時などにその日あったことを伝える様にしている。
	14	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われている	10	5	2	3	・利用日が少ない為、近いうちに状況を確認したい ・父母はなかなか会う時がないが、送迎時に祖母に話してくれるので安心できる。	・子どもの接し方等で困ったことがあれば、特別教育支援士が個別対応や助言を行っている。
	15	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されている	2	3	8	7	コロナが落ち着いたら、父母会を開催して欲しい。コロナ禍なので、仕方がない。	コロナ終息後、懇談会や父母会などの機会を作っていきます。
	16	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されている	15	2		3		
	17	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされている	15	2		3	わが子の場合、子からの意思疎通が難しい。	・絵カードや写真等を使いわかりやすい環境を設定している。
	18	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されている	17	3				
	19	個人情報の取扱いに十分注意されている	19			1		

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
非常時等の対応	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されている。また、発生を想定した訓練が実施されている	11			9		
	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われている	11			9		
満足度	22	子どもは通所を楽しみにしている	17	3			こうめに通所できて本当に良かった。	
	23	事業所の支援に満足している	19	1			もう少し療育的な事があると良い。	・活動内容等、保護者にわかりやすく説明していく。

〇この「保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。